

演劇人さま サマ ニッ ト

- 登壇者
池内いっけん (coup company)
上松知史/伊豆野睦 (劇団UZ)
嘉村彩佳里 (愛媛大学演劇部)
黒田早希 (秘密結社 S.A.G (SYOUGEKI ALL GREEN))
玉井江吏香 (Unit out/劇場で出会うプロジェクト実行委員会)
久野はすみ (松山市民劇場)
堀内富士子 (劇団プラチナわこ)
榊形浩人 (劇団P.S.みぞ汁定食)
吉川 遥 (松山大学演劇部)
渡部和也 (演劇ネットワークOffice59)
栗林朗子/品部大和 (シアターわこカンパニー)
岩瀬敏司、井上志保、2B、
泰山咲美、左京ふうか (フリーランス)

2022.12.16
19:00~21:30 全
シアターわこ
(愛媛県松山市緑町1-2-1)

司会進行
戸籠正史 (松山ブンカ・ラボ)
泰山咲美 (フリーランス)

企画:めぐりて、松山ブンカ・ラボ
主催:愛媛大学社会共創学部 松山アートまちづくり寄附講座 松山ブンカ・ラボ、
松山市、松山市文化創造支援協議会





演劇ネットワーク Office59

登壇 渡部和也

1992年に結成。演劇公演を松山を中心に行っている。ラフォーレミュージアム演劇祭、子規100年祭記念演劇、松山市民演劇、C.T.T.松山、四国劇王など、地元開催の演劇イベントには積極的に参加している。普段の練習を重視し「本番なくても稽古する」「やめなくていい演劇活動」がモットー。2022年7月に坊っちゃん文学賞受賞作品を舞台化したよみ芝居を上演。2023年2月に坊っちゃん文学賞大賞作品を舞台化した本公演を上演する。



劇団P.Sみそ汁定食

登壇 榊形浩人

2002年、榊形浩人を中心結成。ひとつの作品を取材から始め、丁寧な稽古を積み重ね、じっくり時間をかけてつくり上げる世界観が地元ファンに支持される。松山の小劇場以外にも、JR下灘駅や映画館、倉庫や鬼北町の議事室、体育館などで上演。今年は上演作品を原作とした映画を製作。テレビドラマ、ラジオドラマにも出演し、地元で俳優活躍の場を広げ続ける。演出は若手演出家コンクール2021優秀賞を受賞。脚本はせんだい短編戯曲賞最終候補に選ばれるなど県外からも注目される。



松山市民劇場

登壇 久野はすみ

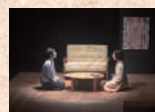
演劇を観る楽しさと喜びを生活の中に！そんな願いから1965年に発足した会員制・非営利の演劇鑑賞会です。全国には約120の演劇鑑賞会があり、近隣の団体と協力し合っ、中央の演劇作品を定期的に上演しています。これは世界に類を見ない仕組みで、日本独自のロングランシステムともいわれています。



coup company

登壇 池内いっけん

真面目に不真面目な舞台づくりをしています



Unit out

登壇 玉井江吏香

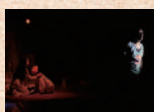
愛媛県松山市を拠点に演劇活動を行う小集団。主宰・玉井江吏香。愛媛+他県(香川・広島・高知・大阪等)のツアー形式での定期的な本公演の他に、県外演劇祭や四国劇王などにも参加。年に1~3本の中・短編を創作・上演、人の行まいや言葉や会話、それらによって変わっていく空気を大切に作品づくりをしています。2021年は、2年ぶりの本公演「百年の途中」ほか2本、2022年は本公演「駆け落ち」を創作・上演(9月現在)致しました。



秘密結社 S.A.G (SYOUGEKI ALL GREEN)

登壇 黒田早希

愛媛県立松山商業高校演劇部の卒業生有志により結成された団体。S.A.Gとは、SYOUGEKI ALL GREENの略称。秘密結社→ワクワク感(+怪しさ)ショウゲキ→松商演劇部の略+衝撃・笑劇など色々な意味を含むオールグリーン→松商カラーの緑+進行方向異常なし!



劇団UZ

登壇 上松知史、伊豆野眸

2007年7月、俳優・上松知史、座付き作家・伊豆野 眸を中心設立。本公演での伊豆野のオリジナル作品の上演のほか、研究公演として既成脚本にも取り組む。2022年9月には豊岡演劇祭2022 フリンジショーケースにて初の県外での上演を果たした。現在8名の劇団員で活動中。

劇場で出会うプロジェクト実行委員会

登壇 玉井江吏香

愛媛県松山市にある民間の小劇場「シアターねこ」に集う、舞台芸術の作り手や観客からなる団体です。「地域に暮らす人々が、アートをきっかけに対話し交流する場」そんな劇場の未来を思い描き、2018年から様々なアートイベントを企画・実施しています。



愛媛大学演劇部

登壇 嘉村彩佳里

年4回の公演のほか、夏には合宿、学祭での出店などもおこないます。現在、8名の部員が活動しています。役者、裏方ともに色濃いメンバーが舞台づくりに励んでいます。



松山大学演劇部

登壇 吉川 遥

松山大学文京キャンパスのカルフールホールにて、夏と冬の年に2回、定期公演を行っています。さらに、春に新入生歓迎ミニ公演、秋に学祭での出店なども行っています。個性溢れるメンバーと楽しく活動しております。



シアターねこカンパニー

登壇 栗林朗子、品部大和

シアターねこを拠点に松山での持続可能な表現活動のあり方を開拓し、新しいかたちのパフォーミングアーツを模索、展開していく集団。2021年度より「東京デスクロック」演出家、多田淳之介がアートディレクターを務める。メンバーには俳優、ダンサー、映像、学生、会社員、主婦などが集まる。2021年12月と2022年3月、シアターパーティーNeCoPaを企画・開催した。



劇団プラチナねこ

登壇 堀内富士子

2015年11月に誕生したシアア向け「プラチナねこ演劇教室」が、翌2016年4月に卒業発表会の後、自立した劇団としてスタート。人生経験と固々しき、思い切りの良さは、他では見られない。コロナ禍で活動を休止していたが、次回の公演に向けて練習を再開しました。

フリーランス枠

登壇 岩淵敏司、井上志保、2B、泰山映美、左京ふうか
独自の企画の開催や、客演での出演など、愛媛県を拠点として特定の団体所属に限らないフリーランスとしての活動を行う俳優、ダンサー、脚本家、表現者。

チラシデザイナー:立木幹生

まつやま 演劇人サミット

松山を中心とした劇団や鑑賞会など、演劇関係者が一堂に会し、演劇文化のこれからについて対話する「まつやま演劇人サミット」を開催します。

演劇、文化、芸術。これらは、作り手や観る人たちだけのものではなく、時代、街、そこに生きる人々、たくさんの物事が絡み合い、影響し生み出されていく、人々の生活を密接に映し出し続ける祭り事でもあると思います。

まつやま演劇人サミットでは、劇団や作品への想い、創作を取り巻く事情、今後の展望は勿論ながら、私たちが暮らし、生きる地域で創作を続けて行くこと、地域とともに出来ることなど、

地域と人といった演劇の周りのことまで含めてお話しが出来ればと思います。愛媛の過去、現在、そしてこれから未来の話をお話しする機会となれば幸いです。

参加無料 要予約
定員|30名(先着順)

日時
2022年12月16日(金) 19:00~21:30

会場
シアターねこ
(愛媛県松山市緑町1-2-1)

※会場に駐車場はございません。公共交通機関や近くのパキングのご利用をお願いします。

申し込み
メールまたは参加フォーム(QRコード)よりお申込みください。
bunkamatsuyama@gmail.com
※名前、住所、電話番号、年齢を明記

お問い合わせ
松山ブンカ・ラボ(080-9833-9869)
[mail] bunkamatsuyama@gmail.com
松山ブンカ・ラボのプログラムはどなたでも参加できます。申込みをするにあたって不明なことがある方や、障害をお持ちで不安や心配ごとのある方など、いつでもご相談ください。

新型コロナウイルス対策に関して
新型コロナウイルスの感染状況によってはプログラムをオンラインで実施する可能性があります。実施方法や会期・時間の変更が生じる場合には、松山ブンカ・ラボのホームページ「INFORMATION」にてお知らせいたします。

めぐりて
文化・芸術の観客の集い
「観客」を地域の文化・芸術を巡り繋いでいく「担い手」と捉えて、観客目線で文化・芸術に携わることを目指し、愛媛県松山市を拠点として活動。現在は四国の演劇・舞台情報blog「カンゲキ☆あんない」運営、月一ペースでの演劇や舞台の話をする場「カンゲキ☆茶話会」の開催や四国の舞台チラン収集・整理・保存を行なっている。

松山ブンカ・ラボ
松山市が2018年3月に策定した「松山市文化芸術振興計画」に基づき愛媛大学社会共創学部寄附講座として実施している文化芸術推進のための中間支援事業です。